

よつばのクローバー



豊中市教育委員会
令和6年(2024年)
10月
NO. 6

校章のデザインが決まりました

庄内よつば学園の校章デザインについては、6月に各小中学校ごとで児童会・生徒会よりデザイン案を広く募集したところ、たくさんの人からの応募がありました。それぞれ集まったものから各小中学校で10点程度に絞り込んだ上で、7月22日(月)に開かれた「児童会・生徒会交流会」で話し合いをもち、5点を選んでいきました。

その手書きの5点をプロのデザイナーにデザイン化していただき、2学期に入った9/5～12の期間で児童生徒全員に下記の5点から庄内よつば学園の校章として一番ふさわしいものはどれですかとアンケートを行いました。



	①	②	③	④	⑤
校章案					
意見	7の部分は、カタカナの「ト」になって、「ト」が4つあり、その内側に「庄内」があり、全体の形がよつばのようだから、ぜひ庄内よつば!	「ここが一番!!」っと思えるような学校にしたい。色をついたら、それぞれの個性が表れるようにしたい。	まわりのまは、かわかいいイメージにするためです。この文字は、4校の学校が一つになるので、それをイメージしました。	各校の個性などが出て個性が表れる学校になってほしいので、庄内よつば学園のよつばと各校の校章のデザインの一部をとって書きました。	学校窓にのうさぎが写っている、さうまのクローバーをものにしてみました。4校の個性が、みんなあふれあっているように書きました。記号に書かれたアイコンは、さうまのクローバーの形を「家・健康・希望」という意味がこめられています。

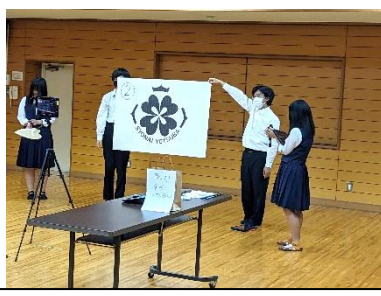
アンケートの結果は、第②案に一番票数が集まりました。その結果を受けて、教職員でつくる「小中一貫教育推進委員会」で協議し、庄内よつば学園の校章デザインに決定していきました。

この結果については、9月20日(金)に各小中学校をまわり、校章デザインの取り組みをすすめてくれた児童会・生徒会執行部等の子どもたちに報告をしていきました。

それを受け、9月25日(水)の日に、各校それぞれの方法で、児童会・生徒会執行部から、児童生徒全員に庄内よつば学園の校章デザインが発表されました。庄内南小・千成小は、全校朝会にて運動会の体操の練習の後、児童会から校章デザインが発表されました。拡大された校章デザインが発表されると歓声が上がっていました。第七中は、生徒集会をリモートで行っていました。



庄内南小・千成小では、児童会から校章デザインを発表



第七中では、リモートによる生徒集会で発表

執行部からは、校章デザイン案の募集から決定に至るまでの経過を丁寧に説明してくれていました。

庄内西小では、校章デザインの発表動画を作成され、各クラスで視聴することで発表の形をとりました。

児童会・生徒会の皆さん、ご苦労さまでした。

3小学校区合同通学路ワークショップを開催

7月に各校区で開催した通学路ワークショップに引き続いて、3小学校区合同での通学路ワークショップを9月28日(土)に行いました。今回のワークショップでは、前回いただいた意見を反映させた新通学路案をもとに説明や意見交流を行い、この案を庄内よつば学園の通学路とすることとしました。ハード面の対策は、豊中市通学路交通安全プログラムに基づいて今後進めていくこととなります。

また、学校再編に伴い通学距離が長くなる地域への通学手段として、スクールバス導入の検討についての意見交流も行いました。ルート等詳細も今後整え、導入できるよう進めていく予定です。



以下、交流時の主な内容をご紹介しますので、ご参考ください。

新通学路案関係

- Q：毎朝見守りをしているが、木がなくなり日影がなくなった。日向を避けると通学路外となるところもある。今年は特に酷暑でもあり、子どもたちの熱中症対策はどう考えているか。
- A：健全木を中心に街路樹の剪定を行っており、健全木を確保するためにやむを得ず樹木の撤去を行う場合がある。子どもへの注意喚起を行うとともに、通学手段と組み合わせて通学時間を考慮した対策を検討している。また、樹木は死角ができないようにバランスを見ながら配置する必要がある。
- Q：菰江公園付近に保育所が設置されると聞いたが、付近の交通は変わるのか。横断歩道の設置はあるのか。
- A：警察とともに付近の交通量を調査中であり、今後検討していく。横断歩道の設置は未定。
- Q：現在の通学路案は改良が終わったうえでの前提で考えているため、神崎刀根山線（神戸線付近から176号線まで）についての改良工事は開校時までには終わらせてほしい。
- A：神州町交差点から府道大阪池田線までの区間は、令和6年10月に工事着手。工事内容は、植栽帯撤去による歩行空間の幅員確保および横断歩道付近に横断防止柵を設置し安全性の向上を図る。令和7年3月までに完了予定。ただし菰江交差点の改良および電線共同溝にかかる工事は大規模であるため、開校までには間に合わないが、施工時は、交通誘導員、仮歩道などを配置し安全に配慮して実施する。
- Q：神戸線三和町からよつば学園までの区間は100～200人単位の子どもたちが通ることになるため、自転車とのすれ違いも心配される。
- A：植栽帯を撤去することにより2.5mの幅員を確保する。将来的には電線を地中化することで+1.0m広げることにも予定している。
- Q：カラー化する横断歩道はどこなのかを資料の地図に表示してほしい。
- A：今年度、交通安全プログラムを策定するため、その資料の中に表示してまとめていく。カラー化する予定の横断歩道は、阪急西側南線と神崎刀根山線が交わる焼肉屋付近、庄内西小学校東側セブンイレブン付近、阪急西側南線の新規提案路線部分の3箇所である。
- Q：開校後に、通学路内容をバージョンアップすることは可能か。
- A：交通安全プログラムは、PDCAサイクルで回していくため、修正は常にしていく。プログラムのサイクルに合わない場合は、別途学校や教育委員会へご連絡いただきたい。

通学手段関係（スクールバスの導入に向けて）

- Q：対象区域はどこか。
- A：庄本町1～4丁目及び庄内宝町2丁目（8-10）である。
- Q：停留所については考えているか。分散して設けた方がよいのではないか。
- A：検討中であるが停留所とするためには人だまりの場所が必要になる。住宅地のため場所が限られる。
- Q：スクールバスは何台か。ルートは？2便に分けるのであれば、停留所は複数でもいいのではないか。
- A：登下校ごとにバス2台を2回転する想定である。停留所やルートは朝の交通渋滞などが課題としてある。
- Q：自分の家は対象区域外のすぐそばにあるのだが、対象区域を広げられないか。区域内の停留所まで行けば乗せてもらうことは可能か。
- A：成長期の子どもにとって歩くことは日常生活の一部であり運動面でも非常に大事な部分となるため、基本的には歩くことを前提にバスの対象区域は必要最小限としたい。
- Q：利用は無料か。また、放課後こどもクラブの子どもも利用できるのか。
- A：行政主導の学校再編に伴う導入のため無償で考えている。放課後こどもクラブの子どもも利用できる方向で検討を進めている。
- Q：スクールバスの導入がいつ決定するのかスケジュールを共有していただきたい。
- A：今年度中には方向性を固めていくスケジュールで動いているが、予算が必要な事業のため、議会での審議が必要となる。令和8年度の予算のため、正式には令和8年3月となるが、事前に業者選定等をする必要があるため遅くとも令和7年12月までにはと考えている。